

需要を見据えた海外展開と加工技術を磨いて新たな販路を開拓

1978年にアケボノ彫刻を創業した。1988年からはプラスチック金型部門を立ち上げ、プラスチック・ゴム・MIM(金属粉末射出成形)等の金型設計・製造を行っている。自動車の電装部品や弱電・強電スイッチをはじめ、家電・IT、住設・日用雑貨、医療機器等幅広い分野において、高精度・高効率な金型を設計から試作成型まで、一貫して生産を行っている。2005年にはISO9001を認証取得し、2011年には、タイ工場を設立、現地での金型加工業務を開始した。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 島根県益田市左ヶ山町口167番地1 | ● 設立 | 1978年 |
| ● 電話/FAX | 0856-23-1682/0856-22-2982 | ● 資本金 | 3,150万円 |
| ● URL | http://www.e-akebono.jp/ | ● 従業員数 | 40人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 吉部 大史朗 | | |



自動車業界の海外進出に伴う現地需要を見据えた海外展開

リーマンショックにおける景気停滞や、主要取引先の「チャイナプラスワン(中国の他に一つアジアに拠点を持つ動き)」に伴い、金型の製造において現地調達の需要が増加していた。一方、国内では安定した受注が難しくなり、業務量の減少を余儀なくされていた。これを受けて、2011年に、東南アジアでの生産拠点となるタイに進出を果たした。現地工場を建設し、現地メーカーを中心に金型の設計や製作、メンテナンスを展開している。自動車業界の海外進出に伴い、タイでの金型の需要は活発な状況にある。



アケボノ株式会社の金型

地域内での協力関係の確立による経済活性化への多大な貢献

島根県内の同業14社と、しまね金型研究会を結成し、支援機関と連携しながら、先進地視察、研修会等に積極的に取り組んでいる。また、金型研究会に所属しているプラスチック加工業者から、新製品ののためのプラスチック射出成形機の特許金型の相談を受け、連携して金型製作を受注するなど、地域内での企業間の協力関係の確立に尽力している。更に、若手人材の雇用においても、地域の様々な場で採用活動を行っており、多大に貢献している。このように地域の経済の活性化に尽くした業績は大きい。



地域に貢献するアケボノ株式会社の社屋

新たな工作機械導入により高精度加工が実現、医療分野へ進出

今までも医療用金型の製作を手がけるなどの実績はあったものの、自動車用金型に比べ数段の高品質化、多数個取り、ハイスサイクル等が求められていた。そこで、高剛性の工作機械等を新たに導入したことにより、多数個取りや、寸法のばらつきの減少が図られ、高精度加工が実現できた。これにより付加価値が向上し、医療用金型製造等に向けた量産が可能となった。そして医療用金型の試作開発を受注することに成功した。今後は、医療用金型製造に向けて、医療用金型等の新規の販路開拓に取り組んでいく。



新たに導入した高剛性工作機械